

第5回 在宅医療推進委員会・記録

- 日 時：平成24年3月9日（金）午後7時30分～午後9時10分
場 所：鳥取県西部医師会館 1階 会議室1
出席者：野坂会長、飛田副会長、寶意理事、安達常任理事、細田理事、吹野参与、
藤瀬参与、面谷参与、越智参与、都田参与、田辺先生、福田先生、三上先生
米子医療センター 松永佳子先生、山根成之先生
米子保健所 大城陽子氏
欠席者：小林理事、松野参与、鳥羽先生、豊田先生、石井先生
山陰労災病院 神戸貴雅先生
博愛病院 楠本智章先生、済生会境港総合病院 佐々木祐一郎先生

【協議事項】

●医療者向け

1. 医師向けの実態調査（アンケート）

- ・委員の先生方にアンケート（案）を見てもらい、気がついたことがあれば3月17日までに意見を出してもらおう。
- ・情報公開について（Yes or No）→ 病院の先生方への情報にもなる。どのように記載するのか。
- ・アンケートは医師会長名を記載して行う。（“推進委員会”はなし）
- ・「この項目とこの項目に対しては病院に情報提供したい（活用したい）」と記入すべきではないか。
- ・アンケートは以前、労災病院と博愛病院（がん）も行ったことがある。

2. サポート事業（→ 診診連携）

在宅医療サポート

- ・看取りのできる医師が少なく、退院時に受け皿となる診療所がないことが問題 → 複数医師制となっている。
- ・サポートする先生にそれなりの費用をみるのができたら…。

在宅看取りサポート

- ・看取り医のテキストがあってもいいのではないか。

3. 病診連携

前方支援（入院患者さんの在宅医療に向けて開業医側の病院に対する支援）

- ・化学療法の途中など、早い段階での紹介もいいのではないか。
- ・病院の先生・・・今までやりとりのない診療所の先生だと、どこまで看てもらえるのかが分からない。

後方支援（在宅医療中の患者さんが入院加療などが必要になった場合の病院側の支援）

- ・入院が必要になった場合、病院を探す、見付からなくて困ったという事はあまりない。縦の関係の病診連携より、横の関係の診診連携の方が難しい。

4. 研修会等

研修会；具体的な内容 年度がかわってからの
講演会；聞いてみたい内容 開催なので、次回以降
在宅医療を支える多職種が参加する研修会 に決める。

●住民向け

1. 住民向けの意識調査（アンケート；理解・啓蒙・問題提起を含む）

- ・住民アンケートは2年の間に行う。
- ・アンケートを行う目的、対象をはっきりして行う必要があるのではないか。

2. 講演会・フォーラム等

- ・行政（県）が行う予定は今のところない。
- ・医師への研修会、講演会よりも、住民レベルの講演会の方に力を入れるべきではないか。

3. 在宅医療支援の資料・グッズの検討

住民や患者さんが常時携帯出来るような冊子。

（病名、内服薬リスト、かかりつけ医連絡先、リビングウィル宣誓文）

（保険証番号、顔写真、検査結果貼り付け欄、氏名、生年月日…）

とにかく何でも記載できるA5判の小冊子。バインダーなどの工夫も可

「がん連携パス」で提供される「わたしのカルテ」と共に持ち歩けるように。

- ・やる事が多すぎる、手を伸ばしすぎではないか。